



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月22日

上場取引所 東

上場会社名 中外製薬株式会社

コード番号 4519 URL <http://www.chugai-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永山 治

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 千葉 暢幸

TEL 03-3273-0881

四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	276,076	△10.9	45,129	△23.2	44,258	△33.0	28,053	△31.4
21年12月期第3四半期	309,713	—	58,784	—	66,043	—	40,889	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	51.55	51.54
21年12月期第3四半期	75.07	75.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	501,175	436,749	86.8	799.11
21年12月期	540,549	434,686	80.0	794.51

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 434,870百万円 21年12月期 432,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	17.00	—	23.00	40.00
22年12月期	—	17.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(参考) 平成21年12月期の1株当たり期末配当金につきましては、特別配当6円を含んでおります。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,800	△7.7	70,000	△15.3	68,700	△24.0	43,000	△24.1	79.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

(参考) 連結業績予想の修正については、本日(平成22年10月22日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	559,685,889株	21年12月期	559,685,889株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	15,488,795株	21年12月期	15,497,079株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	544,193,553株	21年12月期3Q	544,665,306株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け電話説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、音声、Q&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年10月22日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け電話説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

単位：億円

	平成21年 第3四半期実績	平成22年 第3四半期実績	前年同期比
売上高	3,097	2,761	△10.8%
製商品売上高（タミフル除く）	2,476	2,574	+4.0%
売上原価	1,433	1,196	△16.5%
売上総利益	1,664	1,565	△5.9%
営業費	698	714	+2.3%
研究開発費	378	399	+5.6%
営業利益	588	451	△23.3%
経常利益	660	443	△32.9%
四半期純利益	409	281	△31.3%

当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,761億円（前年同期比10.8%減）となりました。

年度間で変動の大きい抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」の売上高158億円（同71.7%減）及びその他の営業収入28億円（同55.6%減）を除いた製商品売上高は、2,574億円（同4.0%増）となりました。

[国内製商品売上高（タミフルを除く）]

がん領域では、平成21年11月に非小細胞肺がんを追加適応症として承認された抗悪性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスタチン」と平成21年9月に大腸がんを追加適応症としてオキサリプラチンとの併用療法の追加承認を取得した抗悪性腫瘍剤/5-FU誘導体「ゼローダ」をはじめとする新製品及び適応拡大品が順調に市場へ浸透した結果、1,001億円（同12.6%増）となりました。

骨・関節領域では、ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ」が売上を順調に伸ばし、441億円（同7.0%増）となりました。

一方、腎領域では、薬価改定の影響と競争激化の影響により遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」の売上が減少し、417億円（同6.1%減）となりました。

移植・免疫・感染症領域（タミフルを除く）では、C型慢性肝炎の併用療法浸透によりペグインターフェロン-α-2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」が、順調に市場シェアを獲得しておりますが、市場全体が減少している影響を受けて売上が減少し、183億円（同5.2%減）となりました。

[抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」について]

通常シーズン向けの売上は、新型インフルエンザの流行が早期に沈静化したため14億円（同92.4%減）となりました。行政備蓄向けの売上は、144億円（同61.4%減）となりました。

[海外製商品売上高]

バイオ後続品と為替の影響により遺伝子組換え型ヒトG-CSF製剤「ノイトロジン」の売上が減少したものの、平成22年1月に米国食品医薬品局（FDA）から承認を取得し、同月アメリカで発売され、現在50カ国以上で販売されている「アクテムラ」（欧州製品名：RoActemra）のロシュへの輸出が増加した結果、261億円（同10.1%増）となりました。

[損益の状況]

タミフルの売上高の減少及びその他の営業収入の減少の影響により、売上総利益は1,565億円（同5.9%減）になりました。

販売費及び一般管理費については、人件費の増加等により営業費が714億円（同2.3%増）となり、創薬研究への積極的な投資及び早期段階開発テーマの活動増加により、研究開発費は399億円（同5.6%増）となりました。

その結果、営業利益は451億円（同23.3%減）となりました。また、外貨取引に備えて実施している為替予約について前年同期の評価益に対し当期は評価損を計上したことから、経常利益443億円（同32.9%減）、四半期純利益は281億円（同31.3%減）となりました。

※本項において、金額は億円未満を四捨五入しております。また、増減及び%は億円単位で表示された数字で計算しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,012億円と、前連結会計年度末に比べ393億円減少しました。主な増減は、現金及び預金で368億円の減少、受取手形及び売掛金で223億円の減少、商品及び製品で281億円の増加です。

総負債は644億円と、前連結会計年度末に比べ415億円減少しました。主な減少は、未払法人税等で212億円の減少、未払費用などの減少により、流動負債のその他で146億円の減少、支払手形及び買掛金で81億円の減少です。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は、3,197億円です。

純資産は4,367億円と、前連結会計年度末に比べ20億円増加しました。主な増減は、四半期純利益281億円を計上した一方、剰余金の配当218億円により利益剰余金で63億円の増加、為替換算調整勘定で33億円の減少です。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は584億円となりました（前年同期末残高646億円）。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、44億円の収入（前年同期は369億円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益443億円、法人税等の支払額381億円、たな卸資産の増加額237億円、売上債権の減少額221億円などです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、162億円の支出（前年同期は216億円の支出）となりました。固定資産の取得で103億円、有価証券及び投資有価証券の取得と売却の純額で49億円、定期預金の預入と払戻の純額で10億円をそれぞれ支出しました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、231億円の支出（前年同期は223億円の支出）となりました。特別配当6円を含む前期の期末配当金及び当期の中間配当金の支払いに218億円を支出しました。

※本項において、金額は億円未満を四捨五入しております。また、増減は億円単位で表示された数字で計算しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2009/2010年シーズンの新型インフルエンザの流行結果や最近の当社主力製品群の動向等を勘案し、「タミフル」、「アバステン」、5-HT3受容体拮抗型制吐剤「カイトリル」、「エボジン」、「ペガシス」、「コペガス」、「アクテムラ」（海外製商品売上高）等の通期の売上高予想を修正いたしました。

またこれら売上高予想の修正に加え、販管費の節減状況、為替の変動による影響等を反映し、通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、予想の前提となる第4四半期の想定為替レートは1スイスフラン＝85円、1ユーロ＝119円に変更しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出においては、前連結会計年度末の实地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。また、たな卸資産の簿価切下げにおいては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判定に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,177	106,978
受取手形及び売掛金	99,292	121,607
有価証券	58,701	52,157
商品及び製品	99,830	71,699
仕掛品	79	10
原材料及び貯蔵品	15,997	20,932
繰延税金資産	22,236	21,058
その他	12,784	16,893
貸倒引当金	△5	△35
流動資産合計	379,092	411,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,824	53,428
その他（純額）	37,620	40,235
有形固定資産合計	88,445	93,663
無形固定資産	2,561	3,244
投資その他の資産		
投資有価証券	7,327	9,657
繰延税金資産	15,397	14,593
その他	8,539	8,306
貸倒引当金	△189	△219
投資その他の資産合計	31,075	32,338
固定資産合計	122,082	129,246
資産合計	501,175	540,549

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,247	34,263
未払法人税等	877	22,142
賞与引当金	9,451	5,731
その他の引当金	2,319	3,219
その他	20,535	35,125
流動負債合計	59,432	100,482
固定負債		
引当金	3,324	3,471
その他	1,669	1,908
固定負債合計	4,994	5,380
負債合計	64,426	105,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,966	72,966
資本剰余金	92,815	92,815
利益剰余金	314,262	307,984
自己株式	△36,252	△36,274
株主資本合計	443,791	437,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,188	1,636
為替換算調整勘定	△10,109	△6,767
評価・換算差額等合計	△8,921	△5,131
新株予約権	705	536
少数株主持分	1,173	1,788
純資産合計	436,749	434,686
負債純資産合計	501,175	540,549

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	303,432	273,252
その他の営業収入	6,280	2,823
売上高合計	309,713	276,076
売上原価	143,301	119,604
売上総利益	166,411	156,472
販売費及び一般管理費		
販売促進費	11,241	10,996
給料及び手当	19,591	20,807
賞与引当金繰入額	5,456	5,513
研究開発費	37,785	39,900
退職給付費用	—	2,031
その他	33,552	32,092
販売費及び一般管理費合計	107,626	111,342
営業利益	58,784	45,129
営業外収益		
受取利息	544	241
デリバティブ評価益	6,059	—
為替差益	—	1,103
その他	1,165	822
営業外収益合計	7,770	2,167
営業外費用		
支払利息	16	3
固定資産廃棄損	178	82
固定資産除却損	138	100
デリバティブ評価損	—	2,516
その他	177	336
営業外費用合計	510	3,038
経常利益	66,043	44,258
特別利益		
固定資産売却益	264	—
抱合せ株式消滅差益	25	—
投資有価証券売却益	—	95
補助金収入	—	50
特別利益合計	289	145
特別損失		
減損損失	26	35
事業再編損	51	67
その他	2	5
特別損失合計	80	108
税金等調整前四半期純利益	66,253	44,295
法人税、住民税及び事業税	25,005	17,025
法人税等調整額	△862	△1,695
法人税等合計	24,142	15,330
少数株主利益	1,220	911
四半期純利益	40,889	28,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,253	44,295
減価償却費及びその他の償却費	14,076	13,047
減損損失	26	35
受取利息及び受取配当金	△600	△311
支払利息	16	3
固定資産除却損	138	100
固定資産売却損益 (△は益)	△263	0
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1	△90
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,191	22,080
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,347	△23,679
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,445	△7,901
その他	△719	△5,416
小計	59,835	42,163
利息及び配当金の受取額	586	296
利息の支払額	△16	△5
法人税等の支払額	△23,523	△38,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,881	4,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23,276	△14,387
定期預金の払戻による収入	10,171	13,398
有価証券の取得による支出	△88,163	△92,386
有価証券の売却による収入	92,900	85,900
投資有価証券の取得による支出	△629	△4
投資有価証券の売却による収入	—	1,612
固定資産の取得による支出	△12,982	△10,321
固定資産の売却による収入	328	0
その他	15	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,636	△16,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,158	△5
配当金の支払額	△19,631	△21,769
少数株主への配当金の支払額	△1,502	△1,276
その他	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,293	△23,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	968	△1,221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,080	△36,057
現金及び現金同等物の期首残高	70,652	94,478
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,578	58,420

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

当社及び連結子会社は「医薬品事業」のみの単一セグメントであり、同事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は、26,056百万円であり連結売上高の10%未満のため、国または地域ごとの海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	26,797	1,795	28,592
II 連結売上高（百万円）			276,076
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.7	0.7	10.4

（注）1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国または地域の内訳は次のとおりであります。

（1）欧州……………スイス、フランス、イギリス、ドイツ等

（2）その他の地域……韓国、台湾、中国、米国等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。